

ゼッタイ合格♪
日商3級簿記検定の合格ワザ

もくじ

| | | |
|----------|---------------------|----|
| Lesson 1 | 作戦の立て方(*^_^*)♪ | 1 |
| Lesson 2 | 第1問仕訳対策\(^o^)/ | 9 |
| Lesson 3 | 第5問精算表対策\(^o^)/ | 22 |
| Lesson 4 | 第3問試算表対策\(^o^)/ | 37 |
| コラム | ワタシは見た?試験会場にて(^_^;) | 50 |
| | 受験票に貼る写真について(*^_^*) | 60 |

〔正誤表〕

P21仕訳の□内で、「金額」に間違いがあります

(例2) 20,000(誤) → 10,000(正)

(例3) 20,000(誤) → 50,000(正)

(例4) 20,000(誤) → 80,000(正)

*以上、訂正していただきますようお願い致しますm(_ _)m

Lesson 1

作戦の立て方(*^_^*)♪

1. はじめに
2. 数字の書き方
3. 仕訳の省略
4. 主要8科目

1. はじめに

日商簿記検定3級は、70点取れたら合格です\(^o^)/仕訳や試算表、精算表など
 いろんな問題が出題されますが、大ざっぱには？

- 第1問・・・仕訳5題（各4点×5＝20点）
- 第2問・・・補助簿や総勘定元帳への記入など（全部で8点くらい）
- 第3問・・・ほとんど試算表作成（全部で30～32点くらい）
- 第4問・・・ちょっと難しい仕訳問題や伝票問題など（全部で10点程度）
- 第5問・・・ほとんど精算表作成（全部で28～32点くらい）

というふうに決まっています。このうち「第2問」と「第4問」は、配点が低い割には？
 出題パターンがものすごくたくさんあり、難易度の高いものが出題されることもあります(^_^;)…なので、効率よく合格を狙うには(-_-)？まずは

「第1問」と「第3問」と「第5問」だけに絞る！！

「第2問」と「第4問」は、初めから全部捨てても？→100点満点のうちの18点しかありません。残りの82点から70点を取りに行くつもりで対策を立てると？

- ①ペンキョーの範囲がものすごく少なくて済むし(^o^)♪
- ②制限時間の心配もしなくて済みます(^o^)♪

日商簿記検定は「記述式」ですが、ある意味マークシートの試験と同じで「部分点」などはありません(^_^;)「配点箇所が出来ているか否か」だけを見て→○か×とする…
 という白黒ハッキリした採点方法です。但し、「配点箇所はどこか(-_-)？」についてはよく考えられていて→「ボキ的に意味のあるところ」にしか配点はありません(^_^;)なので、合格のためにペンキョーするなら？

「どこに配点があるのか？」を意識して解くこと！

がとても大切です(*^_^*)

2. 数字の書き方

金額の書き方(^o^)

「¥」マークや「円」などを書かない！
3ケタごとにコンマ「,」を打つ！
金額の終わりに「—」などを書かない！

(悪い例) 3000000 → 3,000,000
 ¥200,000 → 200,000
 120,000— → 120,000

簿記検定は「記述式」なので、採点はすべて人力(じんりき)です(^_^;)なので、他人が読める程度の文字を書くことはもちろん、数字については特に注意しなければなりません。

- ①コンマとケタが合っていない…とか(^_^;)
- ②他の数字と読み違いやすい書き方(—)

などは、検定以前の問題としてゼツタイに許されません。

- ・「0」と「6」…とか
- ・「4」と「9」…とか
- ・「1」と「7」…とか

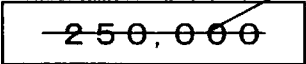
は特に注意が必要です。あと「1,000」のようにゼロが続くときは、一筆書きのようにゼロを続けて書くのではなく→1つひとつのゼロを切り離してハッキリと書くようにします。

金額訂正の仕方(^o^)

1つの金額は「かたまり」と考える！

(悪い例) $\overset{5}{300,000}$ → 300,500
 $\underset{\times}{2000,00}$ → ~~2000,00~~ 200,000

ちなみに(^o^)日商簿記検定で使える筆記用具は、「黒の鉛筆またはシャープペンシル」と「消しゴム」です。鉛筆か？シャープペンか？はどちらでもいいですが、消しゴムを使う場合はかなり慎重に(^_^;)消し跡が残らないようにキレイに消さないといけません。書き間違えたとしても？矢印で示せば、記入が「欄外」になってもOKです(*^_^*)

280,000


…みたいな書き方もアリです(*^_^*)

3. 仕訳の省略

3級定合格のために「ゼツタイに欠かせない知識」は、ズバリ！

「ホームポジション」と「T勘定」

です(*^_^*)資産・負債・資本の「増えるとき」がどっちで？収益・費用が「発生するとき」がどっちか？これを覚えないとハナシになりません(-_-)

| 貸借対照表 | | 損益計算書 | |
|-------|---------|-------|-----|
| 資 産 | 負 債 | 費 用 | 収 益 |
| | 資本(純資産) | | |

「簿記の一連の流れ」で、取引が発生したら→仕訳して→仕訳帳に書いて→転記して→総勘定元帳に書いて→集計して試算表→決算をして→精算表→清書して貸借対照表と損益計算書……というカンジで、最終目的として「貸借対照表」と「損益計算書」を作ってるわけです(^o^)なので、そこに出てくる「資産・負債・資本」や「収益・費用」が

- ・増えるのであれば→「ホームポジション側」を増やす
- ・減らすのであれば→「ホームポジションと反対側」を増やす

そんなカンジで仕訳していかないといけません(*^_^*)

さらに(^o^)/ 例えば

「買掛金30,000円を現金で支払った」というときに、いちいち仕訳しなくても？

| 現 金 | 買掛金 |
|-------|-------|
| 3,000 | 3,000 |

と、「いきなり転記」で書けるようにならないといけません(*^_^*) ♪